

## 令和5年度秋田県放課後児童支援員認定資格研修 研修レポート抜粋

(誤字脱字等については校正しているため、原文と異なる場合があります)

### 県央会場

#### 科目 ⑫学校・地域との連携

- ◆ 教育現場に限らず、子どもたちを見守り、育てていく環境は年々厳しくなっていると感じました。学校や地域との連携はとても重要であると実感し、今できることをコツコツと積み重ね、互いのことを知り、信頼関係を築いていくために活動内容を話し合い、伝えていく努力を継続していきたいです。地域コーディネーターの存在を知ることができましたが、人数が少ない事実を知ることができたので、連携がスムーズに行えるためにも様々な情報収集や研修に参加していきたいです。
- ◆ 小学校や幼稚園等と連携を図ってだけでなく、地域との連携を図っていく大切さを学びました。その中で地域コーディネーターや地域学校協働活動推進員という初めて聞いた言葉も出てきたので、どんな活動をしているかを知っていきたく感じました。今回グループ毎に話し合いをし、他の放課後児童クラブで働く方の話を聞くことができました。このような話し合いや情報交換できる場を大切にしていきたいです。
- ◆ 学校の抱える問題は複雑化していて、解決するためには様々な機関との連携が必要だということを知りました。コミュニティスクールや地域コーディネーター等、聞き慣れない言葉を学び、そのような言葉を周知していける大切な役割を担っているということに改めて実感しました。その際には必要な情報と秘密情報を見極める必要があるのに注意していきたいです。
- ◆ この科目では、学校や地域との関わり方の重要性を知りました。学校や地域とつながりを共有していくことで、地域全体で子どもたちの学びや成長を一緒に支えていくことの大切さを知ることができました。地域コーディネーターの存在もあまりよく知らなかったもので、連携をとり、活用していきたいと思います。他の学童の方々ともお話ができ、たくさん情報交換することができたのでよかったです。
- ◆ 放課後児童クラブを運営するにあたって学校や地域との連携がとても大切であると学びました。人口減少の加速に伴い、地域コミュニティの維持が困難になるなど、課題が複雑化している中でコミュニティスクールや地域学校協働活動の取り組みが実施されていることを知りました。また、秋田県内は全国と比較して、コーディネーターや推進員の数が少ない現状で更なる認知が必要ということを知りました。また、今回グループワークで他事業所の現状等も聞いてよかったです。